

YouTubeで
オリジナルセミナー動画が見られます！

随時
更新

～普通の社労士では
教えてくれない人事労務のこと～



労使トラブル・労働組合折衝

強い！

熱血
講義！

事務所代表佐賀豊が

登録・視聴 無料

【会員登録】



ウェブセミナーご登録はコチラ！

ウェブセミナー会員にご登録いただくとこれまでに開催したすべての ZOOMセミナーが全て視聴できます。ぜひご登録ください！

社会保険労務士法人 佐賀事務所 株式会社 佐賀人事総研 〒115-0045 東京都北区赤羽1-10-11 ショーエービル TEL.03-5249-3326

労使相愛を実現する会

～伝説の社労士事務所と呼ばれたい～

社会保険労務士法人 佐賀事務所
株式会社 佐賀人事総研
TEL.03-5249-3326

2024
June
6月号
第72号

1 「群衆社会心理」について、実体験に基づいた感想を綴ります。

2 定数と変数、自分が変われば
3 相手が変わる可能性は高くなる！

4 オリジナルセミナー動画が見られます！

発行元：社会保険労務士法人 佐賀事務所 株式会社 佐賀人事総研 赤羽の社労士ブログ <https://ameblo.jp/saga-sr/>

20th 社労士開業
もうすぐ開業20年

7165日

断酒してから

2111日

断煙してから

6859日

皆様、いつもお世話になっております。

今月は「群衆社会心理」について、実体験に基づいた感想を綴ります。先日の労働委員会終了後、労働ゴロ「労働組合の執行委員長と書記長」が仕掛けてきました。自作自演の名演技で私を前科者にしようと企てた、あの馬鹿者どもの筆頭格の2人です。委員会室を出ると、奴らが私に罵詈雑言を投げつけながら急接近。

無視して控室に戻ろうとすると、私の顔面に醜い顔を近づけ、通路に立ちふさがり、私を通せんぼう……。

控室まで15mを、書記長の足を踏まないように気をつけて蛇行しながら、なんとか無事に控室の前までたどり着きました。危ないと思ったら、ありがたい。

すると今度は、控室の前で両手を大きく広げて通せんぼう。まさに大の字状態。

控室には貴重品もありますし、控室に入ることを止められる理由も謂われありません。①使用者側委員のA先生も私の真横にいらして、委員会後は毎回控室で総括の打ち合せをするので、「どいてね」とやさしく声をかけ、書記長の左肩に私の左手を添えて書記長の体を左にずらしました。

すると、2mくらいでしょうか？引力の法則に反するように吹っ飛んで床に倒れ込み、②「暴行を受けた、警察だ!!」と大騒ぎ。これもヤクザの古典的な所業と相手にせず、使用者側委員のA先生と打ち合わせをしようと席に座ると、今度は控室の中に入り込み、「暴力を振るわれた」と使用者側委員のA先生にからんで大騒ぎする始末。A先生は我関せずと、黙ってすぐに部屋から出て帰ってしまいました。部屋の中は奴らと私だけ……。

執行委員長が動画を回して、さあ、準備OK。ちなみに、労働委員会の中は撮影禁止のはず。奴らにはルールなど関係ないのでしょね。③2人がかりで罵詈雑言や侮辱的な言葉を私に投げつけてきました。暴行罪は難しいと踏んで、次善の策として侮辱罪を狙いに来たのでしょう。大手の警備会社と運送会社の役員は、この手法で警察に連行されたと聞きます。私も言いたいことがあったので、遠慮することなく本音を言ってやりました。

④「人が亡くなったことをあざわらうかのような街宣活動」「子供の運動会を狙った街宣活動」「水天宮前での神を神とも思わぬ街宣活動」

そんな街宣活動はするな、お前らの所業・言動は非常に醜い、人から恨まれて人の感情を逆なでするような活動は問題が複雑化して、話がまとまらなくなると伝えました。侮辱罪の成立には、不特定多数の中で公然的に侮辱することが要件となります。室内で、それも私の控室内で、出て行くように命じても居座り、動画を積極的に回し、煽っている側が侮辱されているという奴らの主張も、全く不可解で呆れるくらい可笑しい話です。

臨場した2人の⑤警察官には事情を説明しましたが、降りかかる火の粉を払うのに2時間を要しました。

群衆社会心理について語ります。黄色字の箇所を意識して読んでいただくとイメージしやすいかと思います。目撃者が多いほど、人は見て見ぬ振りをするものです。労働委員会側のスタッフは少なくとも私のまわりに15名はいたと思います。しかし、私の歩行を妨げる奴らを注意する方は1人もいませんでした。人とはそんなものです。諦めでも呆れでもなく、私はそう割り切って考えています。ただし、それではいけないと管理職研修では声を大にして伝えています。

人は役割を与えると変わるもの。有事に備えて(労働ゴロは稀としても)、例えば「カスハラ」への対応策について役割を明確にすると良いと思います。

労働組合には民事刑事免責という憲法で保障された大きな権利があります。明らかに間違った行為をしていても、人は「寄らば大樹の陰」的な心理状況に陥るものです。奴らは1人では弱くて小心者ですが、こうした武器があると非常に攻撃的になるのです。

法律を学ぶことも重要ですが、社労士として「心理」を学ぶ必要性を現場で感じる事が多くあります。具体的な困り事があればなんでも相談して下さい。固定観念を捨てて、素直な心構えで、一緒になって最適解を導き出したいとスタンバイしております。

今月も「充実」を合言葉に、マイベストペースで飛ばして行きます！

佐賀豊



定数と変数、自分が変われば相手も変化する可能性は高くなる!

今日は51歳の私から29年前、社会人1年生の自分へのメッセージです。さまざまな修羅場から学んだ不朽の教訓を紹介します。

π 29年前、社会人1年生の自分に伝えたいこと

今日は、まず定数と変数の話を書かせていただきます。定数と変数……難しそうに感じるかもしれませんが、そんなことはありませんのでご安心ください。私は現在51歳、社会人になって29年目です。もし今、新人時代に戻ることができれば、当時の自分に、この定数と変数の話をぜひ伝えたいと思います。

定まる数と書いて定数。定数とは、人生で決して変えることができないものです。一方、変数は人生で変えられる可能性のあるものです。定数とは自分の力では変えられないもので、変数とは自分の力で変えられるものになります。

π 自分を変えることはできるが、他人を変えることはできない

変数はただ一つ、自分だけです。自分以外は定数になるので、自分以外のすべては一切変えることはできないこととなります。つまり、**自分を変えることはできるが、他人を変えることはできないということです。**

ただし、**唯一の変数である自分が変われば、定数である他人に変化が起こる可能性は高まります。**自分が変わろうとしないで定数を変えようとしても、「時間・労力・心力」がそがれ、大きな無駄が積み上がるだけです。有限な人生で、これ以上の損失はありません。



π 不平不満がある時は、自分をどう変えたらいいのかを考える

相手の態度が悪い、失礼なことを言われた、不満がたまって仕方がない……特に、若い頃はそう思うことがよくあります。そんな時、「おのれ!」と相手に怒りをぶつけるのではなく、**自分が変わればそうした状況も変わってくと捉えるのです。**

例えば、会社に対して不満があるのなら「会社を変えるには、自分はどうすればいいのか、どう変わればいいのか」と考えます。いちばんの解決策は社長になることかもしれませんが、社長になっても株主はいますし、社内には社長に反する人もいます。上の立場になっても定数が変わるだけです。

変えられるのは自分だけ。不平や不満、怒り、怒り、憎しみ、悔しさがあつたら、自分をどう変えたらいいのか。そう考えることが大事なのです。

π 29年前に知っていたら、どんなに楽だったんだろう

定数である他人を変えたいのであれば、まずは自分(=

変数)を変えるべき。海千山千の経営者にもまれ、さまざまな場数を質量ともに数多く経験し、そこから学び得た不朽の教訓、それがこの定数と変数の話です。

この真実を知ることによって、人に対する不平や不満がなくなります。**相手が自分の思うような行動や態度をとってくれないため、不平や不満が生まれます。つまり、これは相手に変わってもらいたいと思っているからです。しかし、相手を変えることはできないとわかれば、こうした無駄な労力や心労はなくなります。**これを29年前に知っていたら、自分はどんなに精神的に楽だったんだろうと今、思っています。

π 苦戦の結果、人を扱うスキームを変えた

定数と変数を考えるようになったのは、採用したスタッフをどのように扱うか、ここ数年、苦戦したからです。苦戦の結果、自分を変えました。どう変えたのか、スタッフに対して厳しくしないというようなことではありません。人を扱うスキームを変えました。つまり、自分を変えたのです。

どうすれば相手が地に足をつけて、同じ目線で、一緒に肩を組んで歩んでくれるのか。そうなれるスキームを考えたのです。具体的にどんなスキームなのか、お知りになりたい方は直接、私にお訊ねください(笑)。

π 発想や着眼点、スキームやアプローチを変える

自分を変えるというのは、自分が我慢することではありません。発想を変える、着眼点を変える、行動思考を変えるのです。なぜ、いけなかったのかを自分に問い、自分を変える。自分の行動や発言だけにとらわれるのではなく、発想を変える、スキームを変えるのです。言葉づかいなども変えますが、それは表面的なものにすぎず、それだけでは問題解決には至りません。発想や着眼点、その中から生まれてくるスキーム、アプローチを変えるのです。自分を変えるとは、人の言いなりになるとか丸くなるとか、「下々の気風を気取る」ということではありません。**自分のバージョンを変えることで、「定数=他人」を変えるのです。**

「相手を変えるほうが楽だと勘違いし、遠まわりしてはいけません。相手を変えなければ自分のバージョンを変えてからアプローチしてごらん。苦労はあるかと思うけど、他人を変えようとするより全然楽なんだよ」

29年前に戻れたら、社会人初陣の自分にこう伝えます。

π 定数と変数の話は子育てにも当てはまる

この定数と変数の話は、仕事だけでなく子育てにも当てはまります。私は3人の子供に恵まれました。子供には、運動ができるようにしよう、勉強ができるようにいろいろ習わせようと思ったりします。私はスポーツの原体験をさせるため、オリンピック会場に連れて行きました。5歳の

娘にホノルルマラソンを走らせました。

いろいろな経験を与えられてよかったと思っていますが、体験させたからといって、子供が変わることを期待してはいけません。見守りだけです。家族であっても変数であることに違いはありません。変えられるのは自分だけで、子供を変えることはできません。

π 子供には気づきを与えて見守ってあげる

ただし、自分がアクションを起こしてあげることで、変わらないであろう子供が、スポーツが好きになったり、勉強ができるようになって自信を持つ、可能性が広がることはあります。そして、それ以上深追いしてはいけません。期待しすぎはいけません。子どもも定数に入ります。自分以外ですから。他人と一緒にです。追い求めないで見守りだけです。

子供には、変わらないという前提のうえで期待ではなく、見守り、可能性を広げてあげる。気づきを与えてあげましょう。子供は自分の分身みたいなものです。自分の子供に代わりはいません。子育てに関しても、そうしたスタンスを当時から持つことができればよかったなとは思っています。

π 自分はどう変わればいいのか、そのヒントは小説にある

51歳の経験を踏まえて、もし今、小学校1年生に戻れたら、私は超みんなの人気者になれるでしょう。人がイヤがることはしないし、どうしたら先生が喜んでくれるかわかるし、友だちとも仲よくできます。ただし、それはタラレバの話で不可能です。

今の自分の知見を生かして子供時代にさかのぼることはできませんが、今後、仕事にしても人間関係にしても、自分の動きを磨き、どう変わればいいのか。この気づきの答えはなかなか難しいのですが、書籍に求めることもできると思います。書籍といっても哲学書や自己啓発の本、人間経済学や行動経済学などいろいろありますが、大きなヒントは小説にあるのではないかと感じています。

これからの仕事や人間関係を考える際に、自分を主人公にして考えてみるのです。小説にはストーリーがあり、成功も失敗もあります。そこで、自分を小説の主人公に置き換えて、自分はどのような紆余曲折をへて、どのようなエンディングを迎えたいのか……。それをヒントにすることです。

π 主人公の失敗例から学べることもある

私の事務所はビルの再開発で、来年夏には立ち退きの予定です。現在、再開発後に賃貸にするか購入するかの選択を迫られています。ここはスポーツ用品点を営んでいた私の両親が手放した場所です。再開発にあたり億という借金を背負いながら、両親がリリースした土地を取り戻すことも検討しています。そうした状況において、自分はどう変

わればいいのか。そのヒントを小説に見出すことができそうです。

私は本屋であれこれ探すのが好きですが、例えば、これから読もうと思っているのは「金融道」の本です。大きな借金をした主人公がどのような形で失敗するのか、失敗例も学びたいからです。**そうすれば、自分が失敗しないように学ぶことができます。大変な目にあう主人公の人生を自分の将来に置き換えて読む。**恐る恐る読むことで、大きなお金を借りることの恐さを学び、自分を磨き、自分を変えることができるのではないのでしょうか。

π 「おはようございます」と「ごめんなさい」

もうひとつ、社会人1年目の自分へ伝えたいことに、**社会人としての成功の秘訣があります。それは挨拶です。定数と変数の実行は少し難しいかもしれませんが、「おはようございます」と「ごめんなさい」の挨拶だけであれば、おおむねうまくいきます。**

ただし、「おはようございます」にしても、相手の顔色を見て言うことが大事です。相手の表情が暗そうであれば、ちょっと背中を押すような明るい「おはようございます」にします。相手が元気バリバリで活力があれば、それに押されないように力強い「おはようございます」で応えてあげます。相手の顔色を見て、**相手の心を感じながら「おはようございます」を言うことで、相手を見る、人の心を知ることへの興味が湧いてきます。**



π 「ごめんなさい」は、すぐに言うことが大事

「ごめんなさい」は、相手が腹を立てたら、すぐに「ごめんなさい」がいいでしょう。頭を下げながらアカンペーではいけません。今、怒ったことに対する「ごめんなさい」と謝った後にその誤解を解くようにします。なによりも「ごめんなさい」は一拍遅れるよりも先行して言ったほうがいいのです。

「おはよう」「ごめんなさい」というごく当たり前の挨拶に関しても、29年前の自分が知っていたらと思うことはたくさんあります。今日は、社会人1年目の自分に伝えたい不朽の教訓を紹介させていただきました。